

第1回 大井川水系流域委員会 【大井川総合水系環境整備事業について】

令和3年10月1日
国土交通省 中部地方整備局
静岡河川事務所

1. 総合水系環境整備事業について

- 総合水系環境整備事業は「水環境」「自然再生」「水辺整備」からなる。

①水環境

(水質の改善に関する事業)

生態系や利活用に影響がある河川の流況や水質改善など



出典) 近畿地方整備局

大和川総合水系環境整備事業

②自然再生

(自然の再生に関する事業)

魚類の遡上困難な施設の魚道整備、自然環境の保全・復元のための河道整備など

整備前



整備後



出典) 木曽川総合水系環境整備事業

③水辺整備

(水辺の整備に関する事業)

賑わいのある水辺の創出、環境学習の場となる水辺の利用整備など

- 水辺プラザ
- 水辺の楽校
- かわまちづくり

整備前



整備後



出典) 矢作川総合水系環境整備事業

2. 大井川総合水系環境整備事業について

- 大井川総合水系環境整備事業は「かわまちづくり計画」に基づき、大井川の蓬萊橋周辺において地元自治体の整備と一体となって、「水辺整備」を行う。
- 左岸側の整備はH29～R3年度（R4～R8年度：モニタリング）まで、右岸側の整備はR4～R8年度（R9～R10年度：モニタリング）までの予定となっている。

H29.3 大井川宝来地区かわまちづくり計画 登録

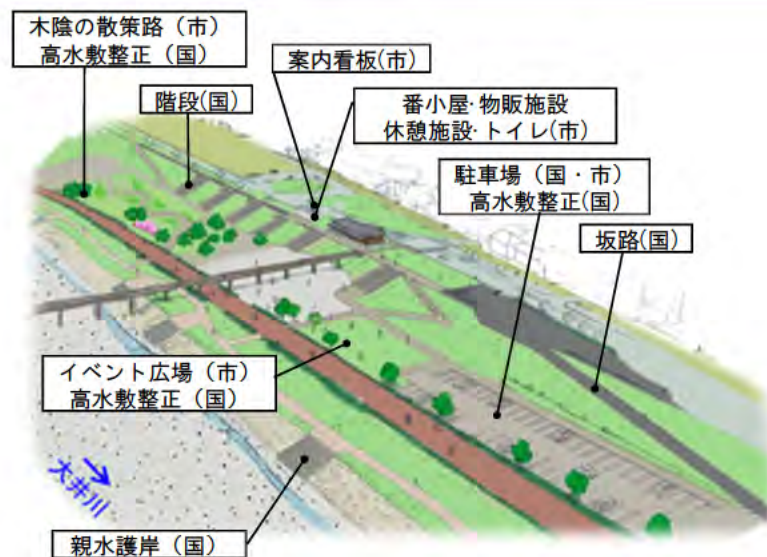


対象箇所：蓬萊橋左岸側（島田駅側）

事業期間：H29～R8年度

（整備：H29～R3年度
モニタリング：R4～R8年度）

整備内容：番小屋のリニューアル、休憩施設の整備、木陰の散策路等の整備



R3.3 大井川蓬萊橋右岸かわまちづくり計画 登録

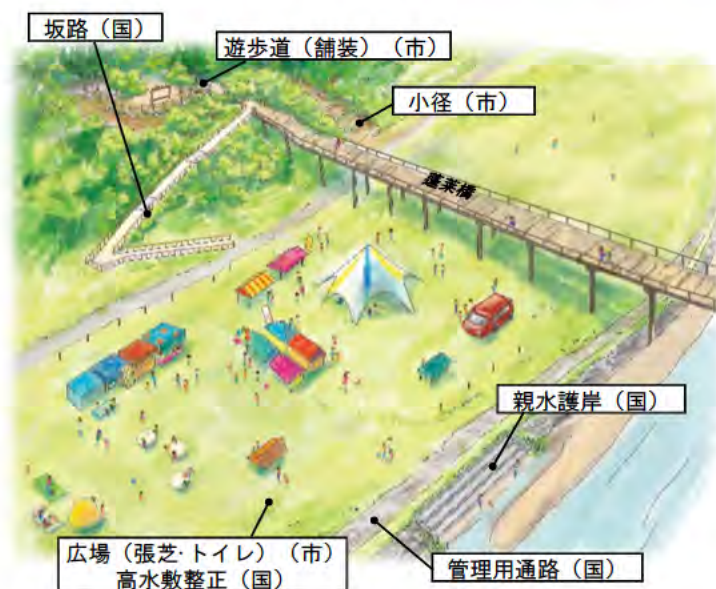


対象箇所：蓬萊橋右岸側（牧ノ原台地側）

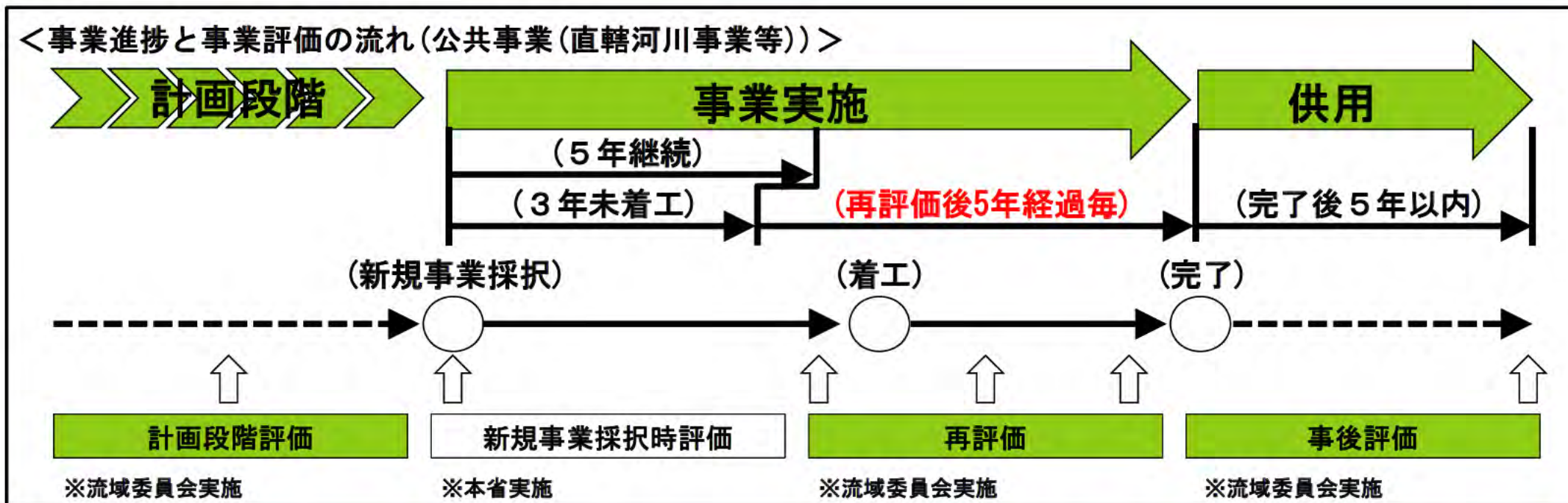
事業期間：R4～R10年度

（整備：R4～R8年度
モニタリング：R9～R10年度）

整備内容：橋詰めから高水敷に降りるための坂路や小径、河川敷のオープンスペース等の整備



3. 公共事業の評価の流れ



【計画段階評価】

新規事業採択時評価の前段階において、政策目標を明確化した上で、複数案の比較・評価を行うもの。

【新規事業採択時評価】

新規事業の採択時において、費用対効果分析を含め総合的に実施するもの。

【再評価】

事業継続に当たり、必要に応じて見直しを行うほか、事業の継続が適切と認められない場合には事業を中止するもの。あり方等を検討するもの。

【事業費・事業期間が変更となる事業：大井川総合水系環境整備事業】

【完了後の事後評価】

事業完了後の事業の効果、環境への影響等の確認を行い、必要に応じて、適切な改善措置、同種事業の計画・調査のあり方等を検討するもの。

4. 費用便益分析について

【費用対効果分析】

「費用便益分析」：投資する費用に対する、整備による効果・メリットについて、お金の換算して、事業の効率性について評価するもの。

費用便益比（**B/C**）は、投資した費用（**C**）に対する便益（**B**）の比であり、1.0より大きければ投資効率性が良いと判断される。

「便益」	◆評価手法	<p>便益の評価手法は、「河川に係る環境整備の経済評価の手引き」等に基づき、事業の特性等を踏まえて選定。</p> <p>○水辺整備事業：利用価値と非利用価値が混在しているため、「CVM法」を適用。</p>
	◆残存価値	<p>評価期間終了後における残存価値は、「治水経済調査マニュアル(案)」の護岸等の構造物に準じて、工事費の10%を計上。</p>
「費用」	◆建設費	<p>「整備中の箇所」については実績額及び予算・予定額を計上。</p>
	◆維持管理費	<p>○緩傾斜堤防や広場は、類似施設の堤防や高水敷(公園)の維持管理(除草・集草)の実績から単価を算出し、各箇所の整備延長を乗じた値を計上。</p> <p>○駐車場や遊歩道(舗装)は、アスファルト等の耐久年度を踏まえて、整備費用の一部を計上。</p>

5. CVM手法の概要

- 宝来地区水辺整備版の費用便益分析の手法として、CVM法（Contingent Valuation Method, 仮想的市場評価法）を用いている。
- 評価対象の内容を説明した上で、整備効果の享受に対する支払い意思を確認し、支払っても良いと考える金額（支払意思額）を直接的に質問し、評価する手法。

手順

① プレ調査の実施
(WEBアンケート)



② 受益範囲の検討



③ 本調査の実施
(WEBアンケート 及び
住民基本台帳・郵送)



④ 賛成率曲線の推定



⑤ 支払意思額 (WTP)
の算定



⑥ 便益の算定

■宝来地区水辺整備（令和3年7月調査）

- ・ 対象範囲は、予備調査の結果から設定し、整備後の利用が期待される方が多くが居住する**事業箇所から10km圏**。
- ・ WEBアンケートは3,023人に配信し、405人から回答。
- ・ 郵送調査は1,100世帯に配布し、589世帯から回答。
- ・ 以上から994票の回答を得たが、このうち**有効回答は460票**（有効回答率46.3%）であり、この**有効回答を対象に賛成率曲線の推定・WTPの算定を実施**。

●宝来地区水辺整備版

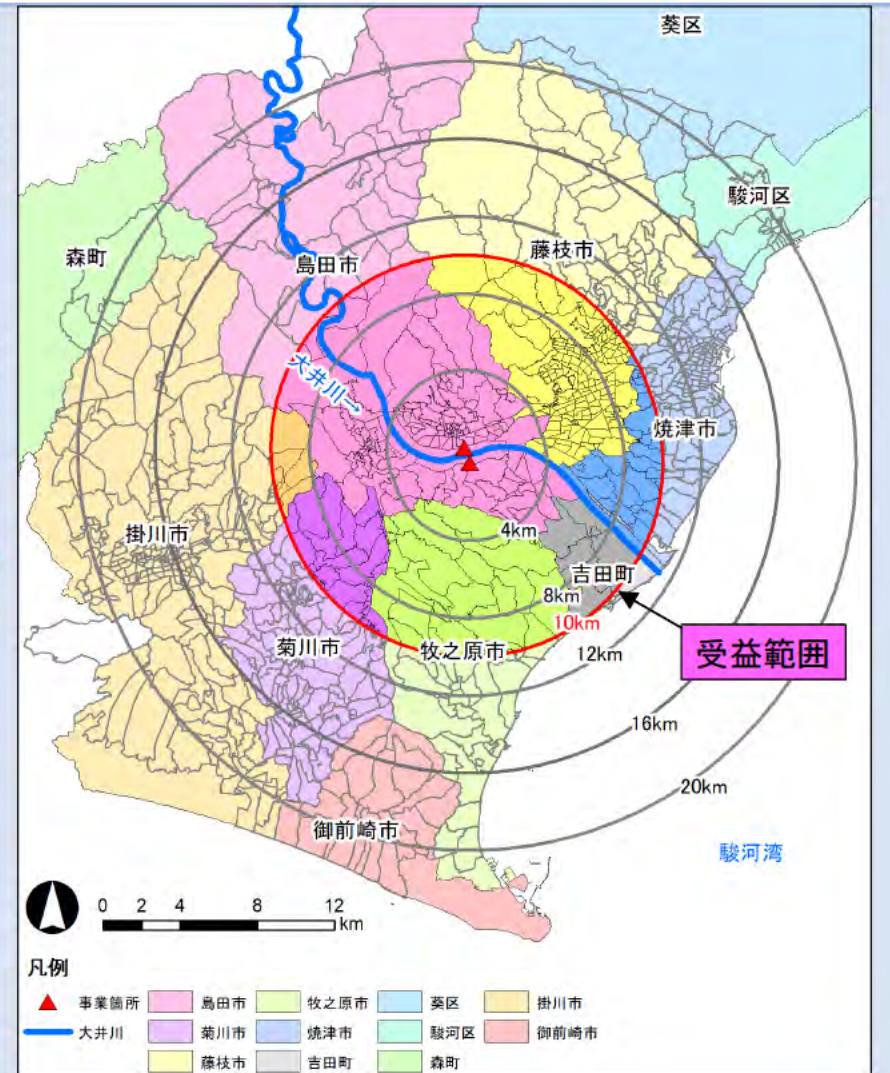
支払意思額 (WTP) **290円/月・世帯**

対象世帯数 **110,131世帯**

年便益

$290円 \times 12ヶ月 \times 110,131世帯$

=383.3百万円/年



6. 河川整備計画における環境整備事業の位置づけ

- 大井川総合水系環境整備事業の継続について了承いただければ、今後、河川整備計画へ追加することを考えている。